

2019年8月29日（木）TICAD7全体会合3「官民ビジネス対話」

10：10～「テーマ2-1 日本政府の取組」

JBIC 林副総裁スピーチ原稿

JBIC の林です。

JBIC について、ここにお集まりのほとんどの方がご存じだと思います。しかし不幸にして、ご存じない、あるいは JICA と区別ができない方もいらっしゃるかもしれません。

JBIC は、JICA と同様、日本政府の機関です。議長席におられる麻生副総理兼財務大臣が、我々の one and only 株主です。

他方、JICA が ODA の執行機関であるのに対して、JBIC は for business です。

我々は日本企業の海外展開、輸出や投資を支援しています。多くの日本企業は、アフリカでビジネスを行おうとするときに、JBIC をどのように活用するかを先ず考えるといっても、過言ではありません。

従って仮に、皆さんの大使や大使館員が、私や私のスタッフをご存じでないのであれば、日本企業の誘致にあまり熱心でないということになります。あるいは、本日官民ビジネス対話にお集まりの方で、JBIC をご存じない方がいらっしゃるとうると、それは我々 JBIC の努力不足とも言えるでしょう。

JBIC のこれまでのアフリカ向け承諾案件は 2,300 件、4.3 兆円に上りますが、JBIC 全体の 73 兆円、6,900 億ドルの 1 割にも満たない規模です。過去の日本企業の輸出や投資の規模が小さかったということは、これから増やしていく余地が十分あるということだと私は考えます。

特に、今後も人口増加と経済成長を続けるアフリカは、世界で唯一長期的な拡大が見込まれる市場です。日本企業の優れた技術や、継続して事業を行うノウハウが最も活かせる市場です。日本企業をサポートするため、JBIC はこれまでアフリカ貿易投資促進ファシリティに取り組んできましたが、今回の TICAD を機に、三つの面でこの取り組みを version up します。

第一は、インパクト投資の強化です。

アフリカにおいては、地球環境の保全に貢献する質の高いインフラが、多くの国でまだ決定的に不足しています。

風力発電や地熱発電を含むクリーン電源、非電化地域における分散型電源、水供給や水質汚染防止、廃棄物処理などなど、日本企業とともに、アフリカのニーズに沿った最適なソリューションを提供します。ヘルスケアや通信、食糧や工業のサプライチェーンの強化など、持続可能で豊かな社会に不可欠なインフラについても、日本企業とソリューションを提供します。

第二に、パートナーシップの強化です。

一方でマルチのパートナー。我々よりアフリカに経験とネットワークを持つ国際機関と連携します。アデシナ総裁率いる AfDB や、EIB、IFC や MIGA、またイスラム開発銀行です。

もう一つバイラテラルの公的機関との連携であり、トルコやインド、イタリアなどの輸出信用機関との協調融資です。アフリカに知識と経験のあるトルコなどの第三国の企業が、日本企業とタッグを組んだプロジェクトを支援します。日本企業とこれらの企業が互いを補完することによって、より質が高くかつ経済性にも富む事業を実現するのです。win-winにとどまらず、win-win-win の成果が得られるでしょう。

第三に、リスクテイクの強化です。

日本企業のアフリカへの輸出や投資を一層支援するため、5 月に TDB 及び Afrexim とクレジットラインを締結しました。これにより、両機関のネットワークを活用して、アフリカ全土をカバーする 6.5 億ドルの輸出が支援できます。JBIC と付き合いがなくても、TDB や Afrexim となら取引のある国や企業はぜひ活用していただきたい。日本企業の輸出にとどまらず、事業投資も含めて連携していきたい。

同時に、JBIC 自身のリスクテイクを強化します。日本企業のニーズを基に、これまで対象としてこなかった与信先の拡大に取り組んでいます。資源開発やインフラ案件に必要な長期で巨額なリスクマネーを供与していきます。小さくてもきらりと光る技術を持った中堅中小企業の進出を応援します。新たな技術を導入するリスク、技術やアイデアをビジネス化するリスクも取っていきます。

アフリカの皆さんから、援助から投資への期待が高まる中、今回「官民ビジネス対話」が開催され嬉しい限りです。JBIC の役割はビジネスですから。そして、JBIC が金融機関として、カタリストとしてアフリカにおいて果たすべき役割は、ますます大きくなっていると感じています。

そのため、本日は三つの version up について表明致しました。JBIC の代表取締役である私が、JBIC の株主である麻生議長の前でお話ししたことです。期待して頂いて大丈夫です。しかし、その実現のためには皆さんとの協働が必要です。

日本企業のアフリカにおけるビジネスの拡大のため、アフリカから来られたお一人お一人をお願いします。技術とノウハウを有する日本企業が少しでも多く貴国で活動できるよう、共に働きましょう。未開拓の機会を見出し、真新しいアイデアを出し合って、一つ一つ実現していきましょう。

本日は貴重な機会を頂き、ありがとうございました。